



東日本大震災後の観光の取組について

観光部

1 「がんばろう日本! 信州元気宣言」の発信

栄村や東北地方、首都圏の被災地・被災者を応援することのほか、安全宣言としての趣旨も含めて発信(4月15日)

宣言が広く浸透するように、業界団体・観光事業者や旅行業協会などへ働きかけ(4月15日・18日・27日)

キャッチフレーズ・ロゴマークの決定(5月13日)

2 観光庁及び国土交通省に対し、東日本大震災復興に向けての観光振興策の強力な推進を要請

(4月19日・26日)

観光需要を喚起する経済対策の実施による復興支援

インバウンドにおける風評被害対策

夏の電力需要分散化に向けた長期滞在型旅行等の推進

長距離列車やローカル線の維持

災害救助法による旅館・ホテルを利用した被災者受け入れ

観光事業者を対象とした新たな金融支援制度の創設

3 国内誘客対策

(1) 長野県内宿泊施設の震災復興支援(義援金付き)宿泊プランを広く紹介(4月15日~)

(2) 「信州に泊まろう! キャンペーン」を延長(4月30日までを5月15日までに)

(3) 学習旅行が中止されないように、関西圏・首都圏の都府県教育委員会・旅行会社へ出向き、正しい情報を伝え、学習旅行の誘致を促進(4月13・14・18日)

(4) 連続テレビ小説「おひさま」関係地域と共同で、首都圏、中京圏及び関西圏の旅行会社を対象とした招へい事業を実施(4月27・28日)

(5) 「信州を元気に がんばろう日本! 『信州の観光元気宣言』イベント」をJR長野駅で開催し、栄村特産品を販売した売上金を義援金として栄村へ寄付(4月29・30日)

(6) 新たに作成した夏休みの長期滞在・体験旅行プラン集を使った旅行商品造成説明会を、従来の首都圏に加え、中京圏及び関西圏でも開催(5月12・19・20日)

(7) 高速道路会社とタイアップした誘客イベントを開催(5月3・21・22日)

(8) FDAの利用促進を目的とした誘客イベントを開催・旅行会社を訪問(5月27~29日)

(9) 第30回横浜開港祭へ栄村・野沢温泉村とともに出展(6月2日)

(10) 信州・長野県の物産と観光展(名古屋市 丸栄)を開催し中京圏からの誘客を促進(6月3~8日)

4 インバウンド対策

(1) 県公式観光外国語サイト「GO! NAGANO」(英語・中国語・韓国語)に宣言や放射線量に関する情報を掲載

(2) 台湾、シンガポール、インドネシア、中国、韓国の旅行会社・メディアを対象とした招へい事業を実施(4月16・17日、5月4・5日、17・18日、20~25日、27~29日)

(3) 訪日旅行手配旅行社を対象にインバウンド説明会を、首都圏で開催(5月12日)

(4) 豪州(メルボルン・シドニー)のスキー旅行博に出展するとともに、観光庁主催豪州向けスキーセミナーへ参加(5月14・22・23日)

(5) 中国大使及び駐新潟大韓民国総領事を訪問し、長野県への訪日観光へ協力要請(5月16日)

(6) 県内留学生OBや台湾へのメールマガジンを活用し、観光地の状況を情報発信